

学校教育目標		重点目標(中・長期的目標)		総合評価					
憲法及び教育基本法の精神に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。 1. 生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。 2. 職員は絶えず研修に努め、魅力ある学習指導を行うなかで、真摯な学習態度を育成する。 3. 体育及び芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。 4. 自然及び社会に関する科学的思考力を高め、総合的学力の涵養をはかる。 5. 課程・学校の性格を明確にし、相互の協力をはかるなかで、地域に根ざし、特色の発揮に努める。		1. 自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。 2. 社会の形成者として必要な規範意識の向上を図り、基本的な学習習慣の確立と自律的な行動の力を養成する。 3. 地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を発揮できるよう努力する。		中間評価	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
今年度目標		(1)個々の生徒の進路実現を図るべく、学力の伸長を図る。		進路指導と学年を中心に生徒の学力を伸ばすべく、さまざまな取り組みを行っている。	個々の生徒の学力を伸ばし、希望する進路実現を達成させている。特に進路指導においては、面接指導、小論文指導等、十分な体制が整い実施している。		○		希望する進路目標実現に向けて、さらに実力をつけ、大学入試に立ち向かう積極態に生徒が多くなるよう継続的に計画的に取り組んでいきたい。
		(2)基本的な生活習慣の確立を図り、様々な活動に積極的に参加活動する自主性を伸ばす。		生徒指導と学年を中心に頭髪などの身だしなみの指導や街頭指導を通じて、基本的な生活習慣の確立を図っている。また、部活動では全国大会に出場し活躍するクラブがいくつもあった。	基本的な生活習慣の確立を図るべく、生徒指導を充実させてきた。部活動では、全国大会に出場するクラブを中心に活躍した。また、課外活動や各種検定など、自ら進んで取り組んでいる。		○		さらに、基本的な生活習慣や常識をわきまえ行動できるような生徒指導にあたる。部活動をはじめ諸活動に積極的に参加し、自らを高めるよう取り組めるよう指導していきたい。
		(3)家庭・地域との連携を強め、本校に寄せる期待を実現すべく、本校の将来のあり方について検討を進める。		P T A、中学校職員、学校評議員などの意見を取り入れ、対応している。特に、教育課程の編成替えを通じて、コース制の充実を検討中である。	保護者・地域を対象にした公開授業、中学生体験入学などを通じ、学校の授業の紹介や学校の取り組みの様子を報告することができた。また、新入生から編成がえとなる教育課程も柔軟なコース制の設定により充実したものになった。		○		家庭あるいは地域との連携をいっそう深めつつ、継続的な取り組みをすすめる。改定教育課程の運用のあたって、生徒の実態に即してよりよい運営ができるよう研究を進める。

領域	対象	評価項目	評価の観点	中間評価	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
教育活動	教育課程	本校の将来像を見据えて、生徒が希望進路の実現を果たすために必要な教育課程の研究を進める。	本校の将来像を見据えた教育課程の検討を進めることができたか。	現1・2年生の次年度教育課程がより適切な教育課程となるよう改訂に取り組んだ。また、次年度入学生以降の教育課程について、研究を進めている。	本校の教育課題をいっそう改善するための教育課程改訂をおこなった。新学習指導要領による教育課程について、研究を進めたい。	○			改訂教育課程の運用にきて、学校全体として更に研究を進める。新指導要領による教育課程の継続的な研究を進める。
	進路指導	生徒の進路希望を大切にしつつ、適切な進路実現に向け指導を行う。	(1)年間計画に基づき各学年に応じた進路指導が実施できたか。(2)一人ひとりの生徒が望む進路が実現できたか。	現在進行中である。ここまでは、計画通りに実施できている。また、生徒の望む進路の実現ができるような指導を継続中である。	ほぼ年間計画通りに進路指導が実施できた。指定校等の推薦に頼らず一般受験で挑戦した生徒が見受けられる反面、安易な方法により入学しようとする者もいた。		○		学校全体として進路への意識向上を図れるようになるための方策を考えていきたい。
	学習指導	(1)「総合学習の時間」の計画立案および運営の取りまとめをおこなう。 (2)次年度講座選択の調整をおこなう。 (3)授業評価についての研究をおこなう	(1)年間行事予定との整合性を確保しながら、効果的な学習活動を実施することができたか。 (2)生徒の進路希望に見合った適正な講座編成ができたか。 (3)魅力ある授業づくりに向けた取り組みができたか。	(1)各学年ごと計画通り進んでいる。 (2)も学年ごと検討に入っている。 (3)は年度末の課題とする。	(1)今年度は計画通りに実施された。今後は新課程への移行にともない、年間計画のなかでどう位置付けていくか、研究を進めたい。 (2)計画通り終えることができた。こちらも教育課程の改定にともなって、選択講座の見直しを研究課題とした。(3)継続課題とする。	新設のため評価できず			今年度新設の分掌のため、他分掌との役割分担、権限について不明なことが多く、試行錯誤しながら業務を進めてきた。とかく何もしない組織になりがちなので、権限の所在を明確にし、係員の選出母体(現行は学年から1名)なども含めて、実態を踏まえた業務の範囲・在り方を研究したい。
	人権平和教育	人権平和教育の推進により、人権感覚を磨くとともに、差別を許さない平和の実現を目指す生徒の育成を図る。	人権平和教育について、生徒・教職員への啓発ができたか。また、内容は適切であったか。	年度当初予定したのものについては、計画通り実施し、最大のイベントである平和学習についても、今年度は講演会を予定している。さらに、他の係とも連携し啓蒙の機会を増やそうと思っている。	従来の活動や他の係との協力での活動により興味を持った生徒・職員への働きかけはできているが、更に広く生徒・職員を啓発するという面では課題が残る。		○		平素から人権感覚を磨くことができるような方策を考えていきたい。
	図書	楽しく、豊かな読書体験ができるような環境を整える。	読書週間・全校読書会・図書館企画の準備や働きかけはできたか。	国語科の協力を得て3年生は進路のための読書が活発に行えた。国際理解学習を積極的に行った。	読書週間には多くの生徒が読書をしたが、日常的に読書する環境づくりについては課題が多い。国際理解・人権学習となる図書館企画を行い、幅広い本が利用されるようになった。		○		教科や特別学習との連携を深め図書館利用を増やしたい。
	視覚覚	(1)視覚覚教育を充実するため、環境を整える。 (2)メディアテラー教育を推進する。	(1)①芸術鑑賞を実施し生徒の満足感を得たか。 ②視覚覚機器の修理・更新を図り、教育内容の改善充実に貢献したか。 (2)教科・特別活動においてメディアテラー教育を推進できたか。	(1)①芸術鑑賞を6月に実施し、おおむね好評であった。 ②必要に応じ、順次更新を行う。 (2)1学年の携帯電話の講演会や教科「情報」の授業を通じ、適宜行っている。	(1)芸術鑑賞を6月に予定通り実施でき、おおむね好評であり、生徒にとって満足できるものがあった。 (2)1学年入学当初の携帯電話の講演会や教科「情報」の授業を通じ、メディアテラー教育を実施できた。		○		・芸術鑑賞は来年度は音楽鑑賞の予定である。芸術鑑賞にむけて、生徒への働きかけを行い、意欲的に取り組めるようにしていきたい。 ・教科担当と連絡を密にいき、メディアテラー教育を推進していく。
	生徒指導	(1)社会から信頼される基本的な生活習慣の確立を図る。 (2)公共心の育成をはかる。 (3)安全で安心できる学校生活を推進する。	(1)無断の遅刻・早退・欠課をなくさせたか。 (2)頭髪・服装など身なりを質素にし、きまりをまもることが適切に指導できたか。 (3)交通法規を遵守し、安全に通学する指導ができたか。	・計画に基づき、「身だしなみ検査」、「交通安全教室」等を行なった。 ・週1回の定例会を持ち、各学年の状況等を把握し指導に当たった。	・計画に基づき、また、係会で生徒状況を把握して指導にあたることができた。 ・服装・頭髪等、共通の指導観点を持ちにくく徹底にいたらなかった。また、規範遵守の意識低下を感じる。		○		・より指導効果を得るための指導体制を確立していきたい。 ・生徒の規範遵守の意識高揚を図るための方策を研究していきたい。
	教育相談	(1)心とからだの問題を抱える生徒への対応を行う。 (2)関係職員または他機関との連携を図る。 (3)職員研修の実施 (4)生徒を取り巻く様々な状況への対応に努める。	(1)学年会との連絡を密にし、生徒の状況の把握ができたか。 (2)問題を抱える生徒に対して適切な支援・対応ができたか。(チーム支援) (3)担任・学年会・スクールカウンセラー・保護者・医療機関等必要な関係機関との連携がとれたか。 (4)必要に応じた職員研修が実施できたか。	・1学期中に6回の係会をもち、学年会からの情報を収集するとともに、必要に応じてカウンセラーにつなげたり、担任の支援を行っている。	・係会において学年からの情報を収集、生徒の状況等を把握することができた。 ・問題を抱える生徒に対しては、関係職員との連携をとるとともに、必要に応じて、カウンセリング、医療につなげることができた。 ・職員研修については不十分な面があった。		○		・学年、担任との連絡をより密にすることにより、早期に生徒の状況を把握できるようにする。 ・生徒理解や対応については、専門家を依頼し、充実した研修が行えるように計画する。
	生徒会	(1)自治活動を通じて市民性の育成を図る。 (2)クラブ活動に積極的に取り組めるようにする。 (3)生徒会と地域との連携を図る。	(1)生徒会活動に生徒が積極的に参加できたか。 (2)クラブ活動への加入率はどうかであったか。 (3)保護者や地域住民との交流ができたか。	・給蘭祭を通じて地域との交流を深めることができた。新執行部で新体制の方針をまとめ生徒に呼びかけ、よりよい生徒会を目指し取り組んでいる。	・給蘭祭では多くの地域の方が訪れ、赤穂高校を見てもらえる良い機会となった。より文化的な要素も増すとい。クラブに関する会則の追加、改正等もできた。これをきっかけにクラブの活性化に繋がるという。		○		今後更に現状にあった会則の改正、追加、削除の検討が必要である。協議会の定期に開会できるといい。生徒会が動いていることがわかるような取り組み、工夫を検討していきたい。
	美化	校舎内外の環境美化について考え、環境を整え、綺麗な中で生活ができるよう工夫していく。	毎日の清掃・ゴミの分別、回収の周知徹底はできたか。	清掃の徹底は、今後も呼びかけていく。ゴミの分別・回収・減量化は、かなりできてきている。	校舎内外の環境美化には、多くの人が理解し、協力して取り組めるようになってきている。		○		全職員・生徒に環境美化に関して、さらに徹底を図ってきたい。
保健	(1)健康教育の充実。 (2)保健管理。	(1)健康維持増進のための健康教育が適切に行われたか。 (2)健康診断と事後指導は適切に行われたか。	(1)(2)とも クラス担任の協力を得ながら指導継続中である。	クラス担任の協力により(1)(2)とも実施できた。特にインフルエンザの感染予防について積極的に対応できた。		○		地域専門機関との連携・活用	

教務	庶務	(1)年間行事予定表の作成にあたり、授業時間を確保し、学力向上の進展を図る。	(1)各曜日の授業時数の平均化。行事の見直し等。	授業時数は確保しているが、連休や長期休業、行事等によるアンバランスの解消が課題である。	臨時の休校や新型インフルエンザによる学級閉鎖があったが、年間を通しては順調に消化することができた。	○	予期せぬ事態を予測することは難しいが、適切かつ即座の対応ができるよう準備することが必要である。
		(2)各学年、教科、係との連絡調整を密にし、円滑な運営を行う。	(2)事前打ち合わせの徹底。ネットワークの活用。	密な連絡には心がけているが、学年や教科、係の独自性をいかに尊重し全体と調整していくかが課題である。	教科、部、係の意見や考え、取り組みをいかに学校全体のものとしてとらえていくべきか課題が多い。	○	一人一台ずつのPC配置に合わせ、より早く密な連絡体制を整えることが大切である。
		(3)魅力ある赤穂高校のPRに努める。	(3)学校案内、公開授業、中学校訪問等の活用。	現在コース制や教育課程の見直しを行っているところであり、例年とは異なる形でのPRとなっている。初めて体験授業に合わせて授業公開を行ったが、予想をはるかに上回る参加者があった。	新しいコース制については、その決定に多くの時間がかかり中学に100%の情報を伝えることができなかった。中学訪問では中学側から様々な意見を聞くことができ今後の参考となった。	○	新しいコース制の最初の年となる。実際に入学した生徒の様子を見ながら、より明確な像を示すことができるようつとめたい。
		(4)コース制運営を行う。	(4)各行事において積極的に生徒にかかわらせることができか。また内容は適切であったか。	1年生の言語文化コースを変則的な形で行っているために、以前のようなスムーズな活動が行いにくくなっているのが現状である。	2年、3年についてはその独自性を生かすことができたが、1年の変則的なコース制については運営に難しさを感じているところである。	○	新旧のコースが混在する状態で、互いの特徴を見失わないよう、また両方のコースに在籍する生徒が満足行く運営を目指す。
		(5)体験学習・体験入学を通して、赤穂高校の魅力伝える。	(5)①赤穂高校の魅力を十分に伝えることができたか。 ②中学生とその保護者に赤穂高校の商業科や普通科のコース制や入試制度を理解させることができたか。	2日間で700人を超える中学生が参加し、赤穂高校の特色や魅力については理解してもらえたと思う。コース制や教育課程が作成中の段階であるため、新たな姿については中学校訪問を通して紹介する形となる。	本校の特色や魅力については伝えることができたと思うが、普通科の新しいコース制についてはもっと早い時期に明確な説明が可能であれば良かったと思う。	○	上記(3)と同様ではあるが、中学生が本校に直接触れることができる大切な機会である。魅力を感じてもらえるような体験授業になるようつとめたい。
広報・情報	校内ネットワークを安全かつ効率的に運用する。	校内ネットワークが安全かつ効率的に運用されたか。	特に問題無く効率的かつ安全に運用された。	学校行事など随時HPにアップできた。また、校内ネットワークは大きなトラブルも無く快適に利用することが出来た。	○	一人一台ずつのPC配置に向けさらに快適な校内LAN環境を整備した。	
防災	防災意識を高め、緊急時に備える。	防災意識を高められたか。	避難訓練等の計画を立て、今後実施する予定	避難訓練では、その意義を理解できたと思う。	○	訓練以外でも、様々な場面で啓蒙的な話ができればよいと思う。	
学校運営	予算施設	(1)学校予算について検討協議する。 (2)校内施設や設備の管理について協議推進する。	(1)備品購入費・需用費が適正に執行できたか。また、効果的に運用されたか。 (2)校内施設が有効利用されたか。また、整備・修復が適正に行われたか。	(1)予算配当に従い順調に執行している。 (2)予算内で必要な箇所を修繕した。	(1)少ない予算の中で適正に執行でき、効果的に運用された。 (2)校内施設は有効利用されているが、あまりにも施設が老朽化しており、県からの予算配当が少なく、毎年度に度に見送らざるを得なくなっている。	○	限られた予算の中で、お互いに譲り合いながらも、生徒にとって必要不可欠な部分から修復、整備していく必要がある。県への強い要望も引き続き続けていくことも大切だと思う。
	将来像検討	これからの赤穂高校についてのビジョンを検討する。	①生徒の実態に合わせ赤穂高校の方向性を検討できたか。 ②赤穂高校の特色を検証し、その特色に沿ったカリキュラム・課程・コース制のあり方を検討できたか。	進学希望者が多数を占める現状に合わせ、関係係と連携して将来の方向を探っている段階である。特色を生かすつつ具体的な検討を進めたい。	教育課程委員会を中心に従来の文系進学コースの特色を生かすべく将来の方向を検討した。	○	進学希望者が多数を占めるが、進路目標に向かって努力する姿勢がまだ不足していると思われるので今後の課題としてさらに検討を進めたい。
	P T A	PTA事務局としての円滑な運営ならびに多くの保護者のPTA活動への参加の促進。	PTA活動が円滑に行なわれ、多くの保護者が参加し、子供、学校とかわりを持つことができたか。	ほぼ順調に行われたが、研修旅行がバス1台になるなど、若干参加者数の減少が見られる。	1. PTA総会・地区懇談会を始め、多くの保護者の方の協力で計画通り実施できた。 2. 研修旅行や鈴蘭祭へのPTAの参加・協力のあり方など検討する必要もある。	○	役員会・三者懇談会・評議員会などで検討し、改善を図る。
	同窓会	同窓会の円滑な運営。	同窓会の活動が活発に行われるよう取り組むことができたか。	進路指導等、生徒の活動に対する補助実施。	進路指導、生徒の活動に対する補助は可能な限り実行できた。	○	今後も同様の助成を行いたい。
	学校評議員会運営	学校評議員会の運営。	学校評議員の意見を十分に聞くことができたか。	今年には評議員の改選の年であったが、後任選出にあたってはかきり厳しいものがあつた。	学校評議員会に学校関係者評価をしていただくことができた。	○	来年度は学校評議員会を年3回開催したい。
	初任者研修	初任者研修の運営。	初任者に教員の基本的な資質能力を習得させることができたか。	初任者研修の計画立案とほぼ計画通りの研修を実施している。	初任者研修の計画立案とほぼ計画通りの研修を実施している。	○	計画通りに研修が実施できたが、初任者の授業研究が積極的に持たれるようになるよ。
	安全衛生	教職員の健康管理の推進を図る。	全職員に対して健康診断の実施と事後措置を実施できたか。	定期健康診断は10月14日実施予定。人間ドック受診予定者に対しては、主任衛生管理者から受診勧奨を実施。	定期健康診断・職員健康管理区による事後指導・健康相談を実施。対象者は全員受診済み。人間ドック受診予定者へも受診勧奨を3回実施。	○	人間ドック受診を早い時期に実施してもらえるように勧奨する。
	修学旅行	修学旅行の検討。	①目的地・日程などについて、保護者や生徒の意見を取り入れながら、生徒にとって無理のない適切な設定ができたか。 ②業者選定にあたって、保護者の意見も取り入れながら、見積書の提出、選定方法等適正な処理がなされたか。	①目的地・日程について、来年度実施の修学旅行は保護者・生徒の意見を取り入れながら、広島に目的地を変更した。 ②業者の選定にあたって、保護者の参加が得られなかったが、業者からの見積もりや資料はしっかり提示され、適正な選定が行われた。	①目的地・日程について、来年度実施の修学旅行は保護者・生徒の意見を取り入れながら、広島に目的地を変更した。 ②業者の選定にあたって、保護者の参加が得られなかったが、業者からの見積もりや資料はしっかり提示され、適正な選定が行われた。	○	①目的地・日程について、ここ2年の間は変更されてきているが、毎年変更するのではなく、下の学年に受けつがれる継続性を持たせたい。 ②業者の選定にあたっては、保護者の代表に参加していただくよう配慮する。